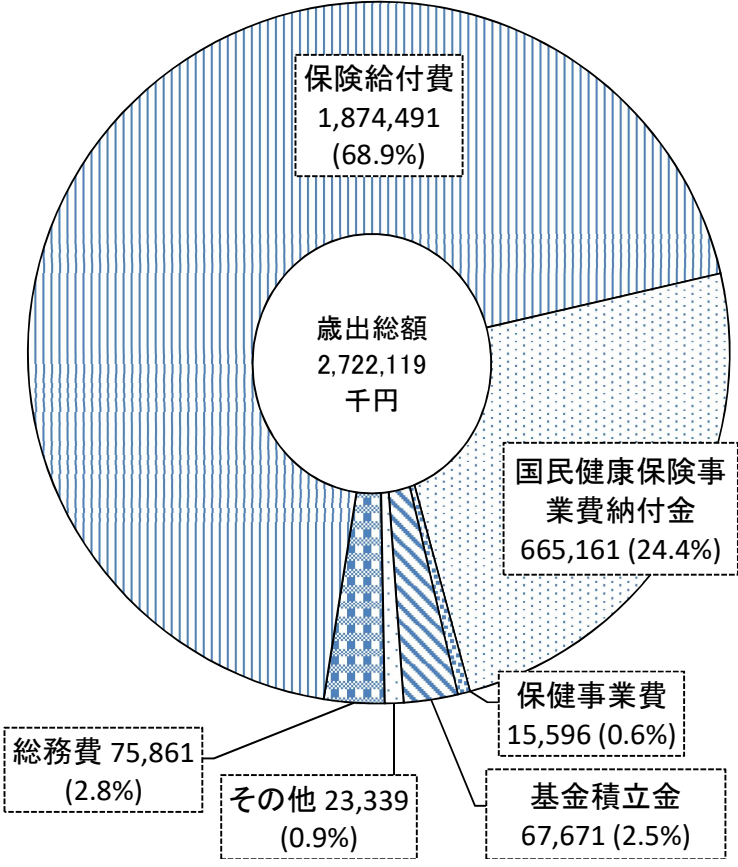
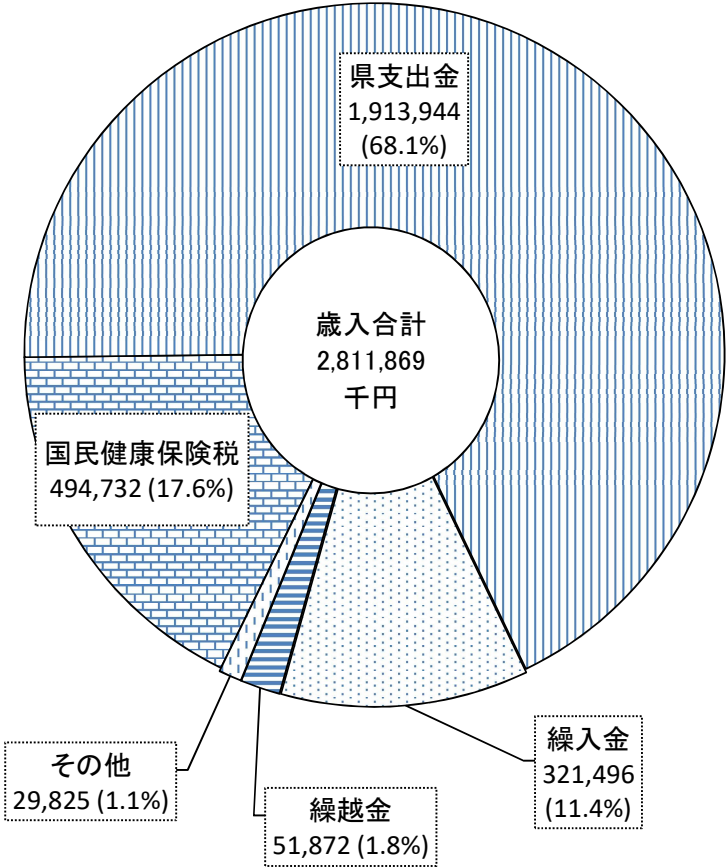


# 令和元年度決算について

- ① 歳入決算額 28億1,186万9千円 (前年度比 +629万8千円、0.22%増)  
歳出決算額 27億2,211万9千円 (前年度比 ▲3,158万円、1.15%減)  
歳入歳出収支 8,975万円
  
- ② 保険給付費 18億7,449万1千円 (前年度比 2,868万3千円、1.55%増)
  
- ③ 被保険者数 (4~3月平均) 5,355人 (前年度比▲121人、2.21%減)
  
- ④ 一人当たり医療費 416,934円 (前年度比+13,638円、3.38%増)
  
- ⑤ 保険税現年度収納率 97.22% (前年度比 0.77%増)

# 令和元年度 国民健康保険事業 決算の内訳

(単位: 千円)



## 令和 元 年度 歳入決算について

(単位:千円)

項目	R1			H30	R1-H30
	予算	決算	決算-予算	決算	増減額
国民健康保険税	451,897	494,732	42,835	508,562	▲ 13,830
国庫支出金	1	0	▲ 1	0	0
県支出金	1,961,092	1,913,944	▲ 47,148	1,868,864	45,080
繰入金	335,413	321,496	▲ 13,917	226,654	94,842
繰越金	51,872	51,872	0	190,310	▲ 138,438
その他	24,474	29,825	5,351	11,181	18,644
歳入合計	2,824,749	2,811,869	▲ 12,880	2,805,571	6,298

国民健康保険税は、被保険者数の減により前年度と比較して▲13,830千円。

県支出金は、医療費の増加により前年度と比較して+45,080千円。

繰入金は、国保税込不足を補うため、基金より107,182千円繰り入れたため、前年度と比較して+94,842千円。

繰越金は、前年度繰越金の減により、前年度と比較して▲138,438千円。

# 令和元年度歳出決算について

(単位:千円)

款	R1			H30 決算	R1-H30 増減額
	予算	決算	不用額		
総務費	87,436	75,861	11,575	81,440	▲ 5,579
保険給付費	1,944,437	1,874,491	69,946	1,845,808	28,683
国民健康保険事業費納付金	665,164	665,161	3	591,018	74,143
共同事業拠出金	3	1	2	1	0
財政安定化基金拠出金	1	0	1	0	0
保健事業費	29,625	15,596	14,029	19,990	▲ 4,394
基金積立金	67,896	67,671	225	169,424	▲ 101,753
その他	30,187	23,339	6,848	46,018	▲ 22,679
歳出合計	2,824,749	2,722,120	102,629	2,753,699	▲ 31,579

保険給付費は医療費の増加により前年度と比較して+28,683千

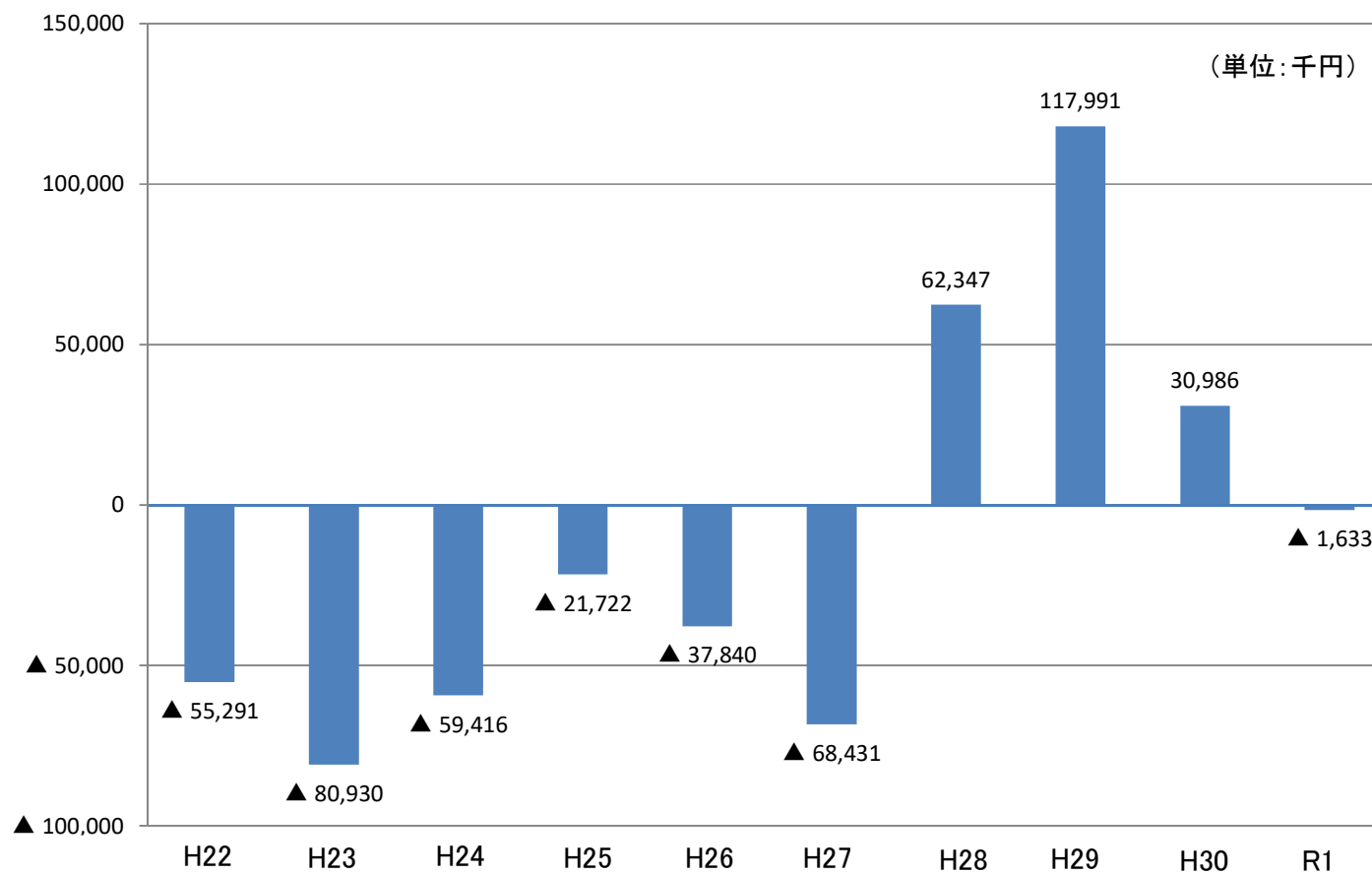
国民健康保険事業費納付金は前年度と比較して+74,143千円。

基金積立金は、前年度繰越金の減により、前年度と比較して▲101,753千円。

その他は返還金の減等により前年度と比較して▲22,679千円。

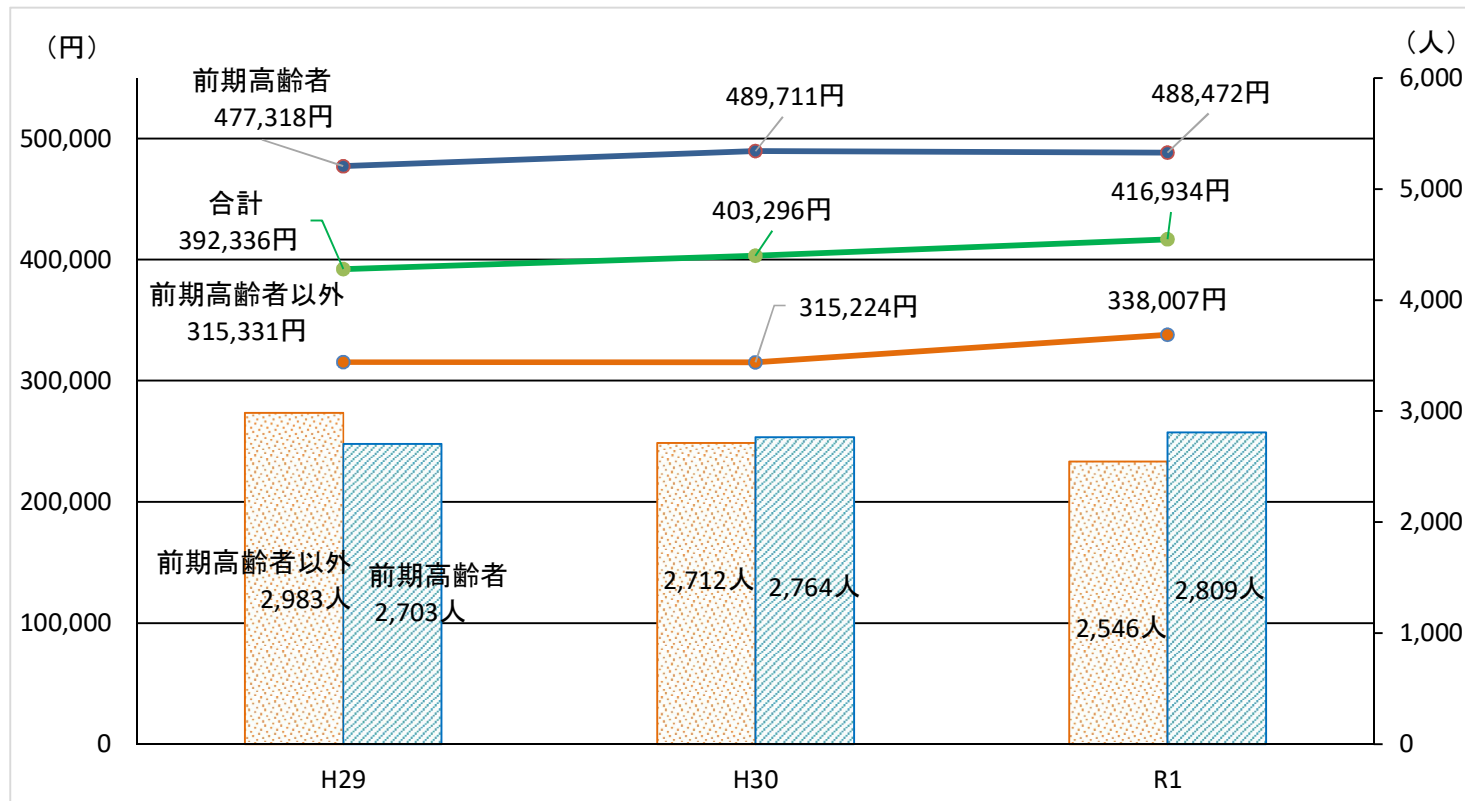
# 単年度収支の状況

H30の税率マイナス改正による税収の減少や、県への納付金がH30より74,000千円以上増加したことから、赤字に転じた。



# 一人あたり医療費(折れ線)と 被保険者数(棒グラフ)

一人あたり医療費は、前期高齢者以外で上昇し、全体ではH30と比べて13,638円増えている。  
被保険者数は、前期高齢者が年々増加し、高齢化が進んでいる。



# 保険税収納率(現年分)の推移

未納者への夜間訪問や、滞納者への給与等の差押えを含む対策を実施し、現年分についてはH30と比べて0.77ポイントの増となった。

